

トナミHD

第一貨物、久留米運送と合弁会社

ドライバ―確保など課題解決へ

トナミホールディングス(綿貫勝介社長)は16日、第一貨物(本社
 山形市、武藤幸規社長)、久留米運送(福岡県久留米市、二又茂明
 社長)との3社で、合弁による新会社を設立することに基本合意した
 と発表した。3社は、トラック運送業界で重要な経営課題の一つにな
 っている「ドライバ―確保」、顧客ニーズに対応する「安全・良質な
 物流サービスの提供」といった共通課題の解決をめざすため、「一般貨
 物自動車運送事業」を運営する新会社を設立した。

新会社の商号は「ジャ
 ン・トランス・ライ
 ン」。すでに準備会社を
 設立(4月2日)してお
 り、8月中旬に営業開始
 を予定。資本金は60
 万円。トナミHDと

第一貨物がそれぞれ40
 %、久留米運送が20%を
 出資している。本店は東
 京都内に置き、社長には
 第一貨物、久留米運送の
 3社は業務提携関係にあ
 り、これまでも各社の強

みを活かした輸送ネット
 ワークの補完、物流サー
 ビスの強化などに取り組
 んできた。3社は今後、
 新会社の設立で連携を強
 めていく。

今回の新会社設立は、
 少子高齢化に伴う労働力
 不足に対応する「ドライ
 バ―確保」や「輸送能力
 の安定的確保」、往路・
 復路の積載効率の向上」
 など「共通課題の解決の
 一助」(トナミHD・経営

企画室)と、位置づけて
 いる。新会社は当面、3
 社からの委託を受け、関
 東―関西間など幹線運行
 の一部を請け負う。
 これまで3社の「自社
 便からあふれた荷物」な
 どは協力会社に委託して
 いたが、これを集約する
 など段階を踏んでいく。
 3社で共通運送車両の共
 用や積載貨物の一本化を
 図り、経営効率の改善な
 どにつなげる考えだ。



綿貫社長



武藤社長



二又社長